

令和〇〇年〇〇月〇〇日

川棚町長 様

住所 川棚町〇〇郷〇〇番地〇
(申出者)氏名 川棚 太郎
電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

川棚農業振興地域整備計画変更申出書

川棚農業振興地域整備計画について、農業振興地域の整備に関する法律（昭和44年法律第58号）第13条の規定により変更したいので、関係書類を添えて提出します。

1. 変更内容 (編入 ・ 除外 ・ 軽微な変更)

変更しようとする土地		地目			面積 (㎡)	台帳名義人 (管理・耕作者)
字	地番	台帳	現況	用途区分		
〇〇郷 字〇〇〇〇	〇〇番〇	畑	保全 管理地	畑	〇〇	農林 一郎

土地の選定に関する調書

1. 当該申請事業に係る候補地エリアの選定、必要な土地の条件等

自己所有地を優先的に選定
義父が要介護状態であるため、住居から 10 分以内の距離の土地を選定。

2. 代替地の検討

当該申請地の代替地として検討した土地

検討した土地（地番）	地目	面積	断念した理由
川棚町〇〇郷 字〇〇〇〇 〇〇番〇	山林	〇〇 m ²	急傾斜地で、大規模な土地造成が必要となるうえ、道路に接していない。
川棚町△△郷 字△△△△ △△番△	雑種地	〇〇 m ²	当該地は、住居から 5 分の距離にあるが、住宅を建設するのに必要な面積を満たさない。
川棚町□□郷 字□□□□ □□番□	宅地	〇〇 m ²	利用可能な近隣の売却予定の宅地で最も住居に近いが、30 分の距離にあるため、介護に不安が生じる。

3. 当該申請地の状況

自己所有地であり、建設に必要な面積を満たすことができる。
義父の住居に隣接しており、容易に介護が行える。
周辺は自己所有の山林であり、周辺の農用地に影響を与えない。

※可能な場合は代替地の位置を示す図面を添付すること。（縮尺・方位を記載すること。縮尺は任意。）

※農用地区域以外の土地から検討すること。

同 意 書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

所在	地目	地籍	用途
川棚町〇〇郷 字〇〇〇〇 〇〇番〇	畑	〇〇m ²	住宅用地に転用

上記の農地を下記申出人が記載の用途とすることについて、何等支障はありませんので、意義なく同意します。

地 権 者

住 所 川棚町〇〇郷〇〇番地〇

氏 名 農 林 一 郎 ㊞

申 出 人

住 所 川棚町〇〇郷〇〇番地〇

氏 名 川 棚 太 郎 ㊞

被害防除計画書

当該事項に○をし、必要事項を記載し、下の空欄にその内容を詳しく記載するとともに利用計画図面等で場所を記入すること。

なお、被害の恐れがない場合は、その理由を記載すること。

① 周囲の農地、人家、道路水路等への土砂流出、たい積、崩壊等による被害の恐れを生じさせないための対策。ガス、湧水、粉じん、捨石、鉱煙等により付近の農業、水産業等の産業又は公衆衛生等に影響をおよぼす恐れを生じさせないための措置

(1) 申請地の造成計画の内容

ア 盛土を行う (最高 1.0m、最低 0.5m)

イ 切土を行う (最高 m、最低 m)

ウ 現状のまま利用する

(2) 上記(1)に伴う被害防除措置

ア 土留め工事をする。 イ 擁壁を設ける。 ウ 法面保護をする。

エ 緩衝地を設ける。 オ 防護柵を設ける。 カ その他

被害防除措置の内容又は被害の発生の恐れがない理由

② 近傍農地の日照、通風、耕作等に著しい影響を及ぼす恐れを生じさせないための措置

ア 緑地、緩衝地を設ける。(幅約 m程度)

イ 建物の高さを加減する。(高さ 3.0m程度)

ウ 隣接農地への通路を確保する。

エ その他

被害防除措置の内容又は被害の恐れのない理由

③ 排水計画

(1) 雨水排水

ア 溜桝 イ 貯水池 ウ 水路放流 エ 自然流下

(2) 汚水処理

ア 合併浄化槽 イ 浄化槽 ウ くみ取り エ その他 ()

(3) 生活雑排水

ア 合併浄化槽 イ 溜桝 ウ その他 ()

(4) (2)及び(3)の放流先

ア 河川 イ 道路側溝 ウ 下水道 エ 水路 オ その他 ()

令和〇年〇月〇日付け農業振興地域整備計画変更申出に係る被害防除計画については、上記のとおり相違ありません。万一、隣接農地に被害等が生じた場合については、申出人の責において解決します。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

住所 川棚町〇〇郷〇〇番地〇

転用事業者

氏名 川棚 太郎

印